



目次

▶ 会社概要の説明

会社の概要
会社の沿革

▶ 事業概要の説明

法人向けサービス
個人向けサービス
競合他社との取扱いサービス比較
業績の推移

▶ さくらインターネットの強み

当社の強み・・・事業基盤の強み、サービスの強み
高速のバックボーン・・・対外接続容量、国内第5位
当社バックボーン増強の推移
多くのトラフィック
価格競争力の高いサービス
都市型データセンター

▶ 今後の展望

当社の顧客の分布
新たな個人ユーザー層に向けたサービス
新たな法人ユーザー層に向けたサービス
海外へ事業展開
全顧客層の獲得

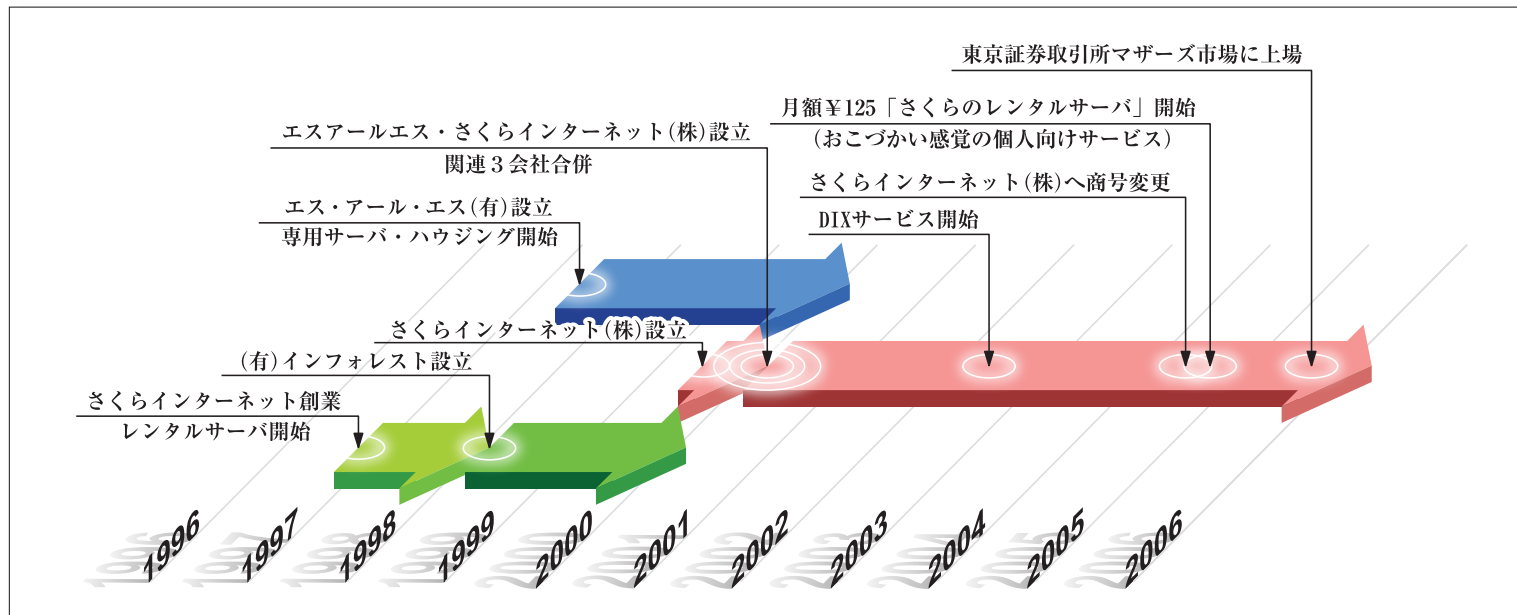
会社概要の説明

会社の概要

商号	さくらインターネット株式会社 (SAKURA Internet Inc.)	
本社	大阪市中央区南本町一丁目8番地14号	
設立	1999年8月 (サービス開始は1996年12月23日)	
取締役	代表取締役 社長 兼 最高経営責任者 (CEO)	笹田 亮
	取締役 副社長 兼 最高執行責任者 (COO)	田中 邦裕
	取締役 最高財務責任者 (CFO)	片岡 督雄
	取締役 最高営業責任者 (CMO)	吉岡 実
資本金	3億7,035万円(2006年6月末現在)	
従業員数	96名(2006年6月末現在)	

会社の沿革

- 1996年 12月** さくらインターネットを創業。レンタルサーバサービス開始。
- 1997年 6月** エス・アール・エス有限会社を設立。専用サーバサービス及びハウジングサービス開始。
- 1998年 4月** 有限会社インフォレストを設立し、さくらインターネットの事業を継承。
- 1999年 8月** さくらインターネット株式会社を設立
- 2000年 2月** エス・アール・エスが株式会社に改組
- 2000年 4月** さくらインターネットを存続会社として、出資2社と合併し、エス・アール・エスとインフォレストの2社が解散。
- 2000年 4月** 商号を、エスアールエス・さくらインターネット株式会社へと変更。
- 2004年 7月** 商号を、さくらインターネット株式会社へと変更。
- 2005年 10月** 東京証券取引所マザーズ市場に上場。

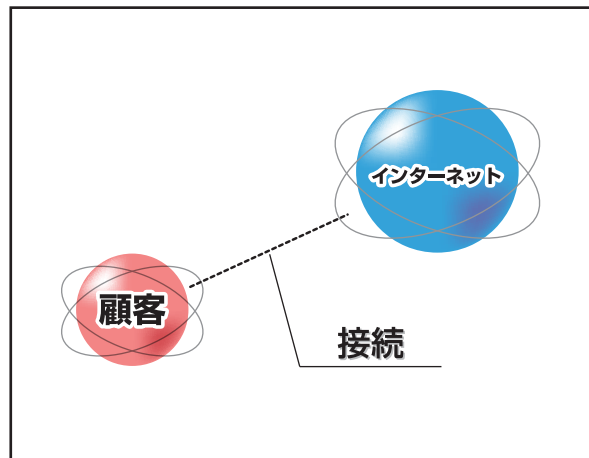


事業概要の説明

法人向けサービス

ISP等

インターネット接続サービス

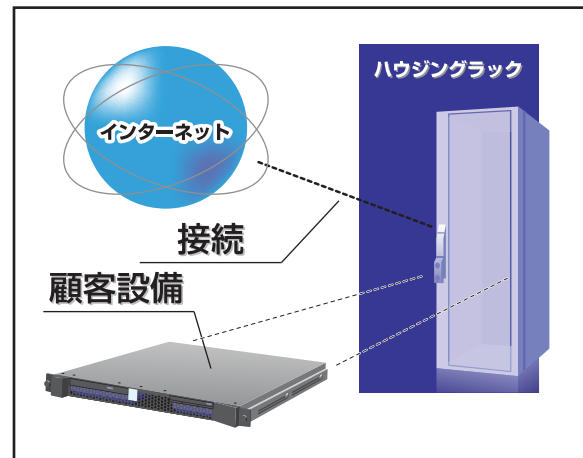


ギガ単位での回線提供

インターネットへの接続を行うための回線を提供します。データセンターの提供は行わず、主にISPなど、顧客にインターネットへのアクセスを提供する事業者に対して、インターネット接続環境を提供します。

IT企業

ハウジングサービス

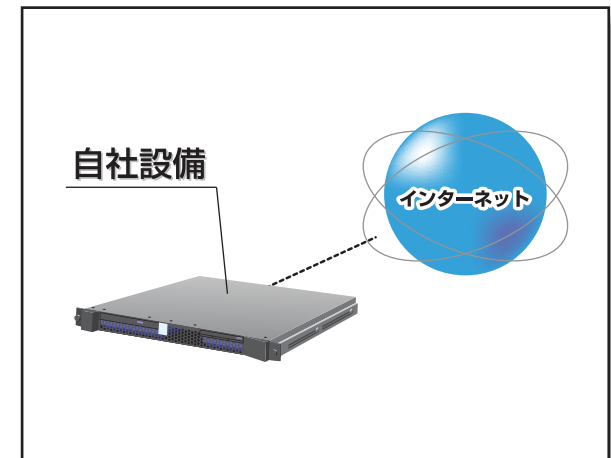


サーバ10台~数百台

データセンター内のスペースをラック単位で、インターネットへの接続を行うための回線とともに提供します。データセンターの利用により、24時間体制のネットワーク運用に必要な経費や設備投資を軽減できます。

一般企業

専用サーバサービス



一台単位

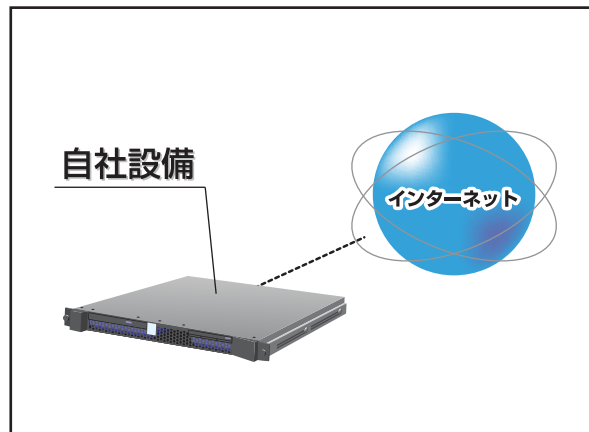
当社所有サーバをラックに設置し、インターネットに接続した状態でサーバを貸与します。サーバの保守や故障対応は当社が行いますので、運用保守の負荷を軽減できます。OSは複数の中から選択できます。

SAKURA.AD.JP

個人向けサービス

ヘビーユーザー

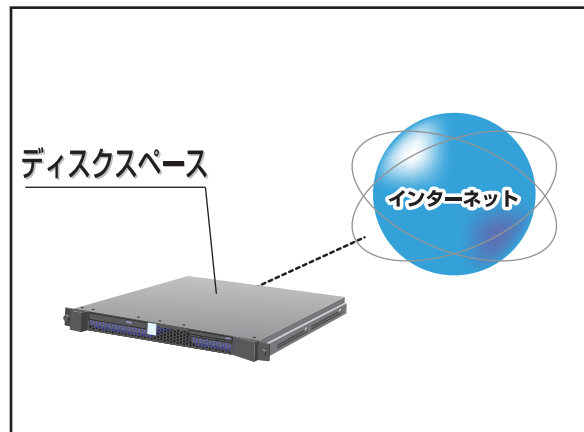
さくらの専用サーバサービス



顧客専用のサーバを1台用意し、占有して利用するサービスです。フレッツADSL/Bフレッツ接続サービス付なので、自宅にサーバを立てる感覚で利用できます。共用レンタルサーバでは行えない、自由なサーバ運用を志向するヘビーユーザー向けです。

ミドルユーザー

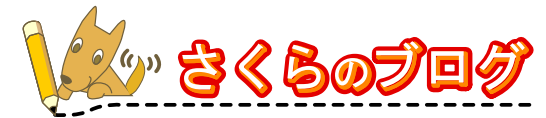
さくらのレンタルサーバサービス



当社所有のサーバを貸与し、1台のサーバを複数の顧客が共同で利用するサービスです。月額換算125円で300Mの容量が利用できるリーズナブルなサービスを筆頭に、初心者からミドルユーザーまで、顧客がサーバの管理をしなくても楽にサーバを利用できるサービスです。

ライトユーザー

ブログ/メールサービス等




「さくらのブログ」は、さくらのレンタルサーバ利用顧客に向けた無料オプションサービスで、「SeeSaaブログ」のエンジンを採用した簡単ブログサービスです。

「さくらのメールボックスサービス」は、月額83円換算から利用できるパーソナル&ホームユース向けメールサービスです。高度なセキュリティと無料のウイルスチェックも付属されています。

SAKURA.NE.JP

競合他社との取り扱いサービス比較

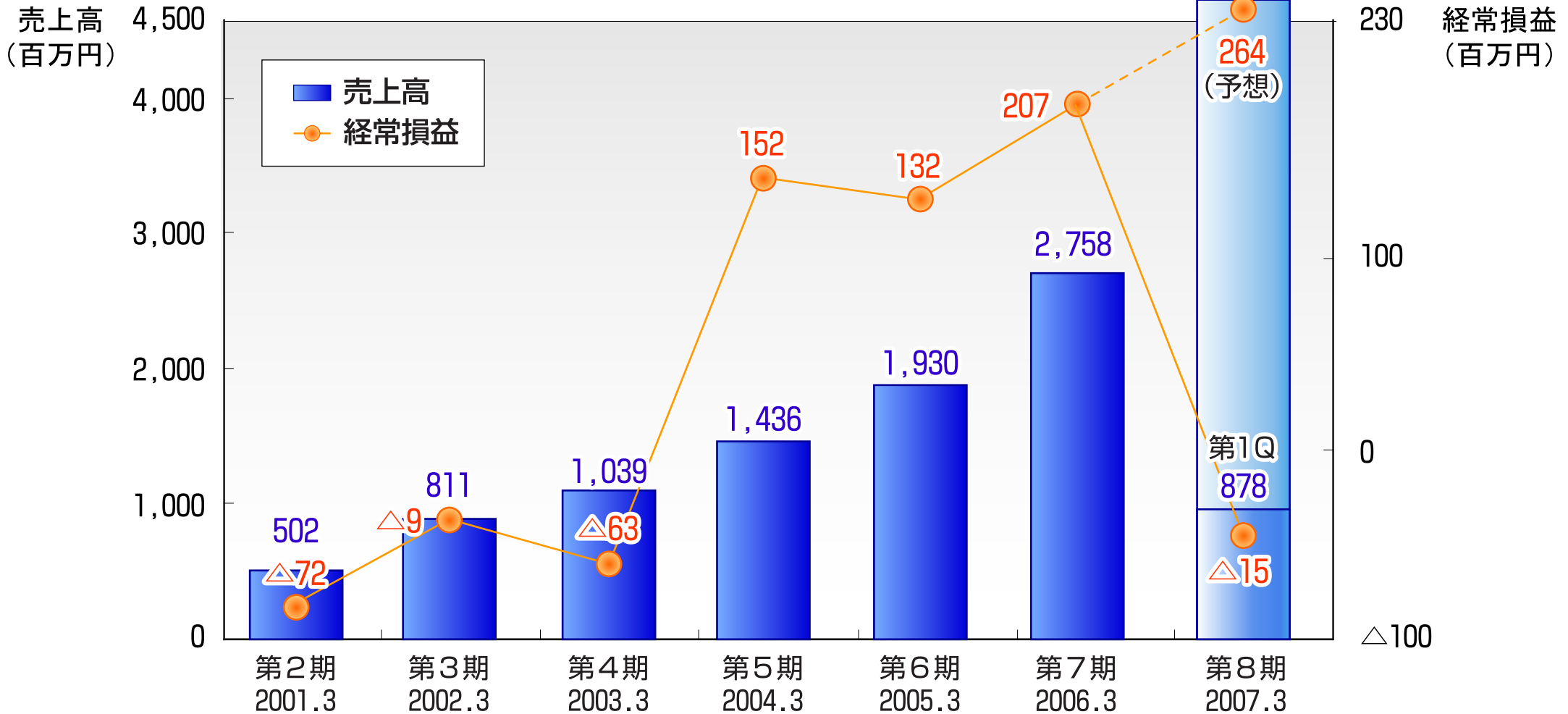
サービス名 会社名	ハウジング (コロケーション)	ホスティング (レンタルサーバ)	インターネット接続 サービス	コンテンツ 企画・制作
 さくらインターネット	○	○	○	○
B社	○	×	○	○
M社	○	×	○	×
A社	×	○	×	○

○ サービス提供している × サービス提供していない

※業界誌・インターネット等を参考に当社調べ

業績の推移 —全サービス—

(単体)

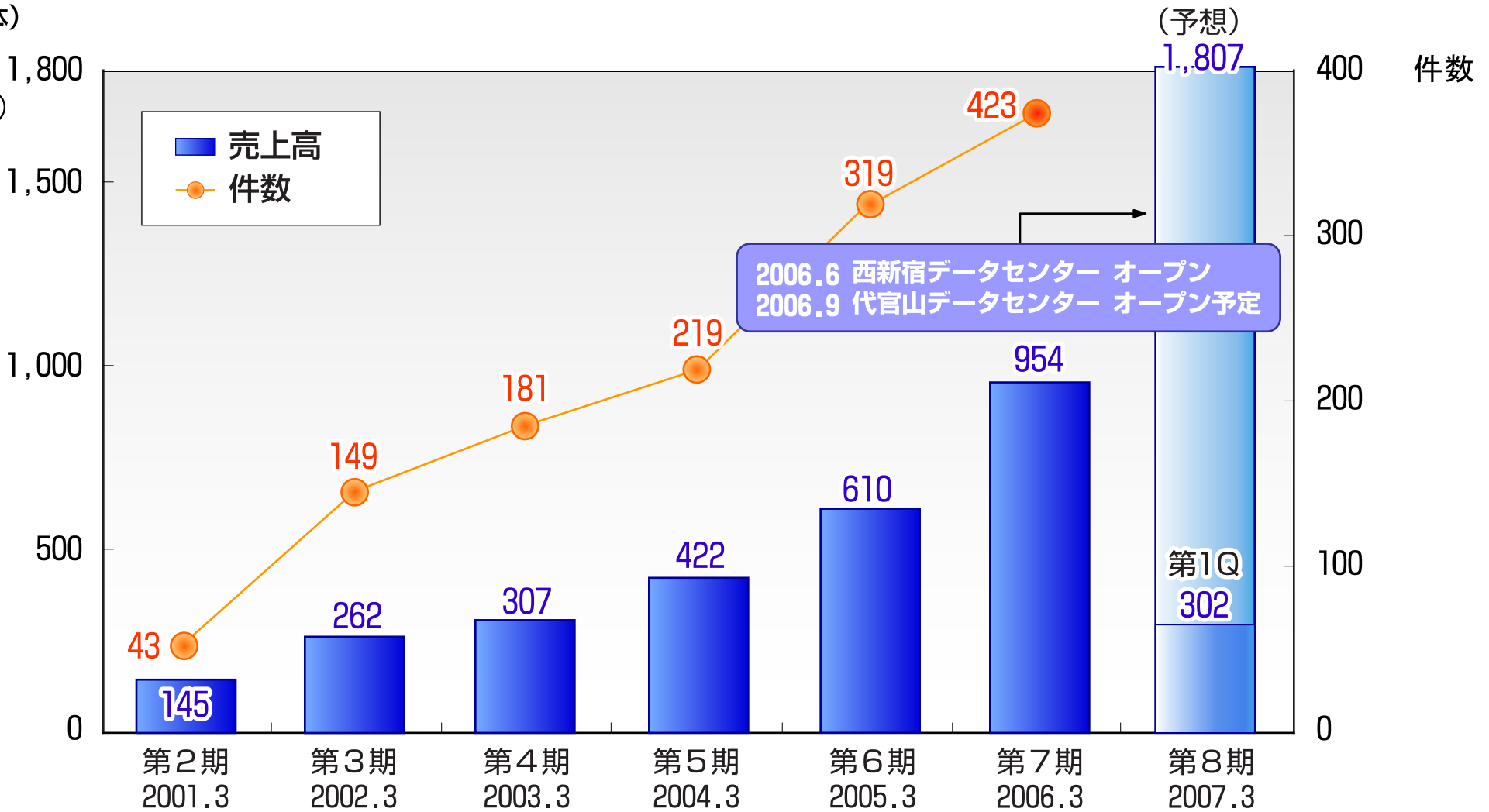


業績の推移 —ハウジングサービス—

(単体)

売上高 1,800
(百万円)

件数

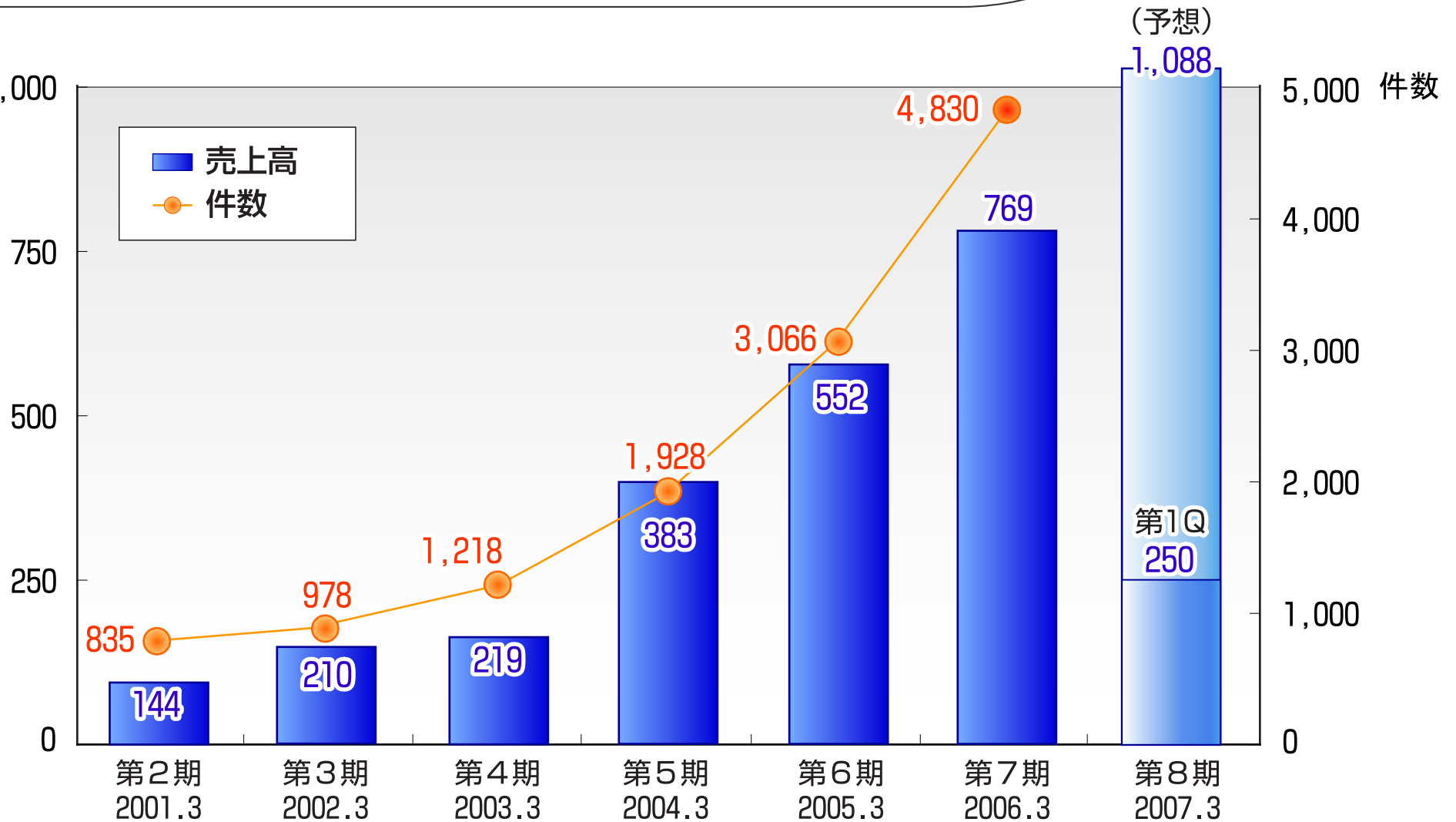


(注)ハウジングサービスにつきましては、第2期はユーザごとの件数を、第3期から第7期(中間期)までは契約ごとの件数を計上しております。

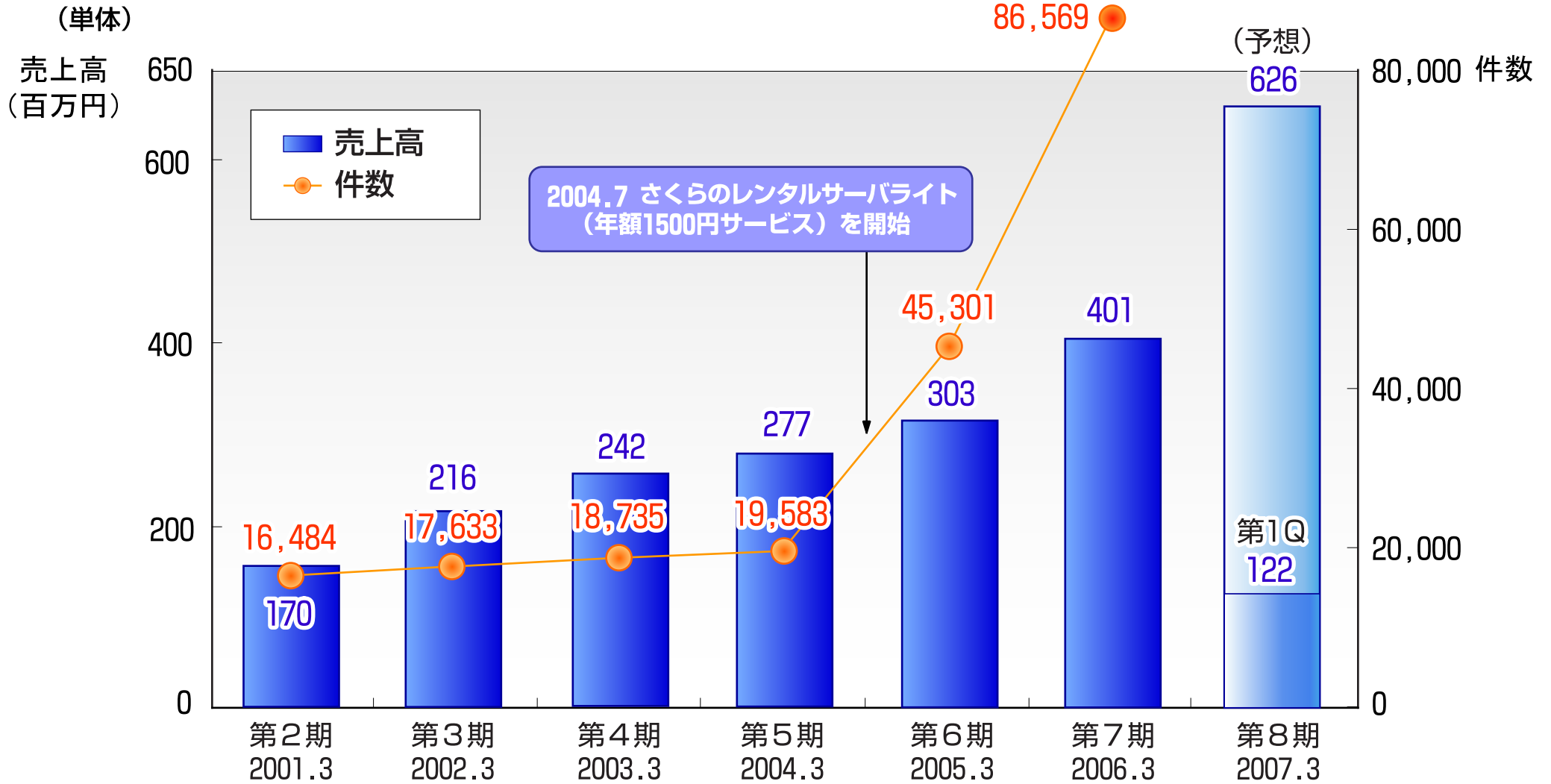
業績の推移 —専用サーバサービス—

(単体)

売上高 1,000
(百万円)



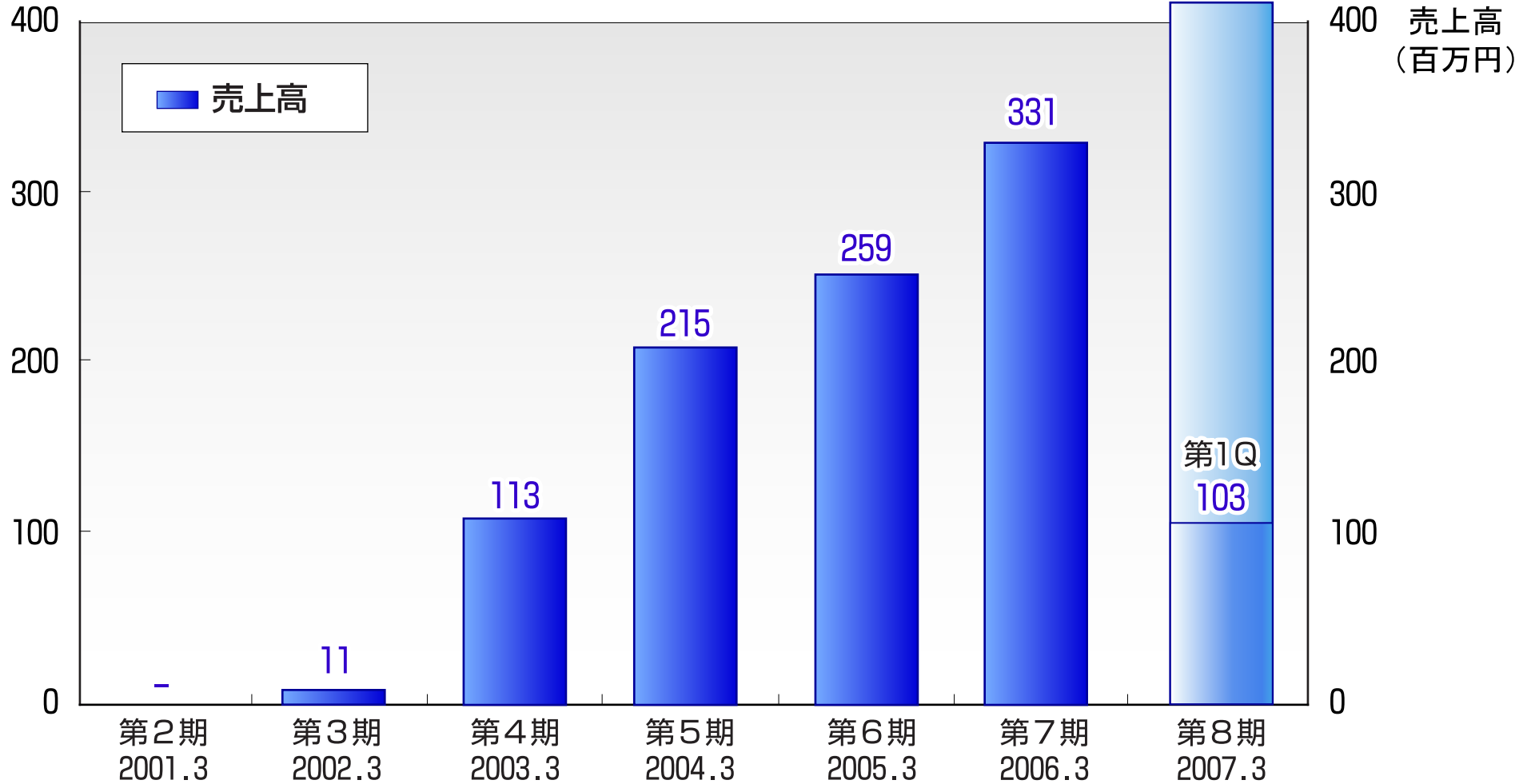
業績の推移 ーレンタルサーバサービスー



業績の推移 ーインターネット接続サービスー

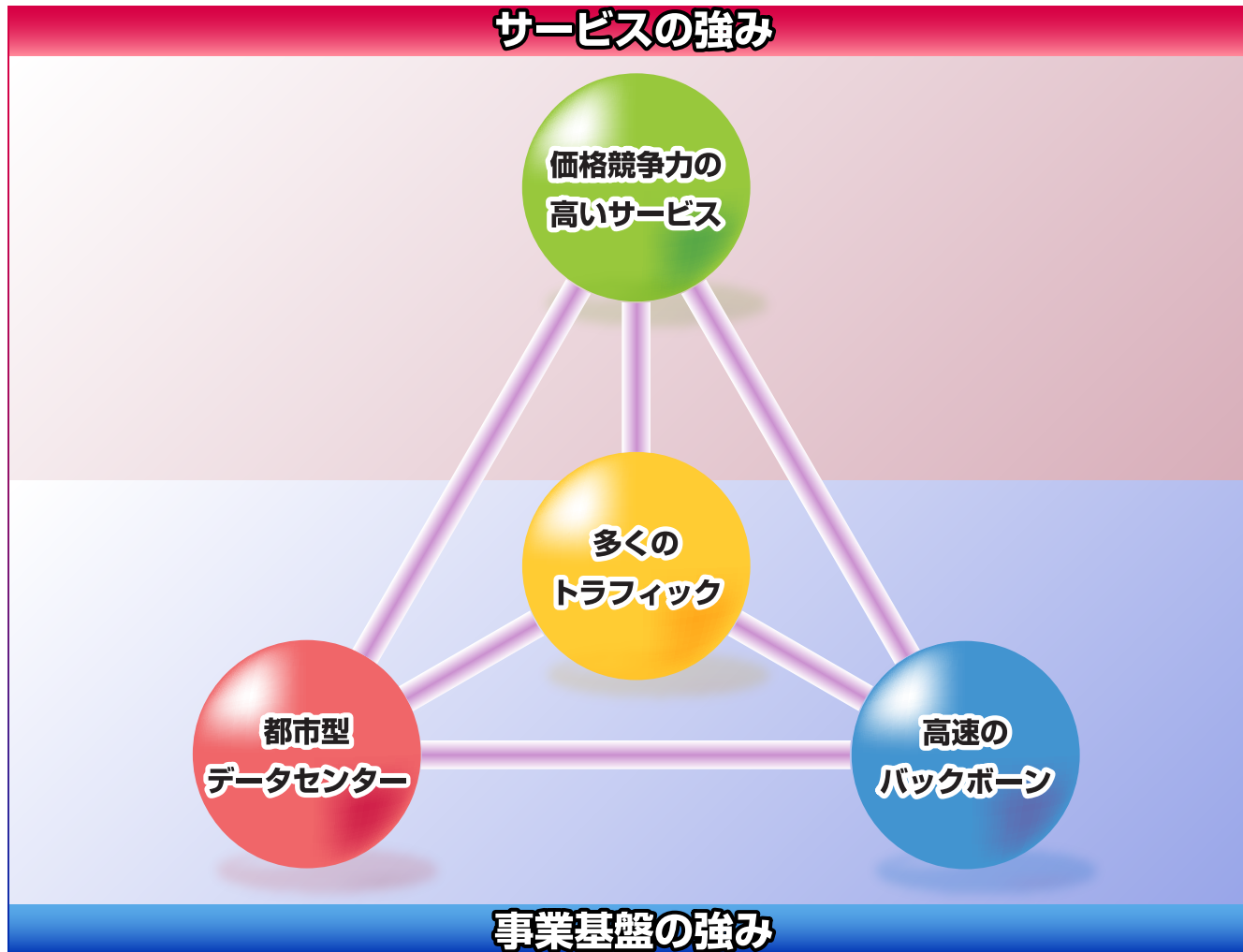
(単体)

売上高
(百万円)



さくらインターネットの強み

当社の強み —サービスの強み、事業基盤の強み—



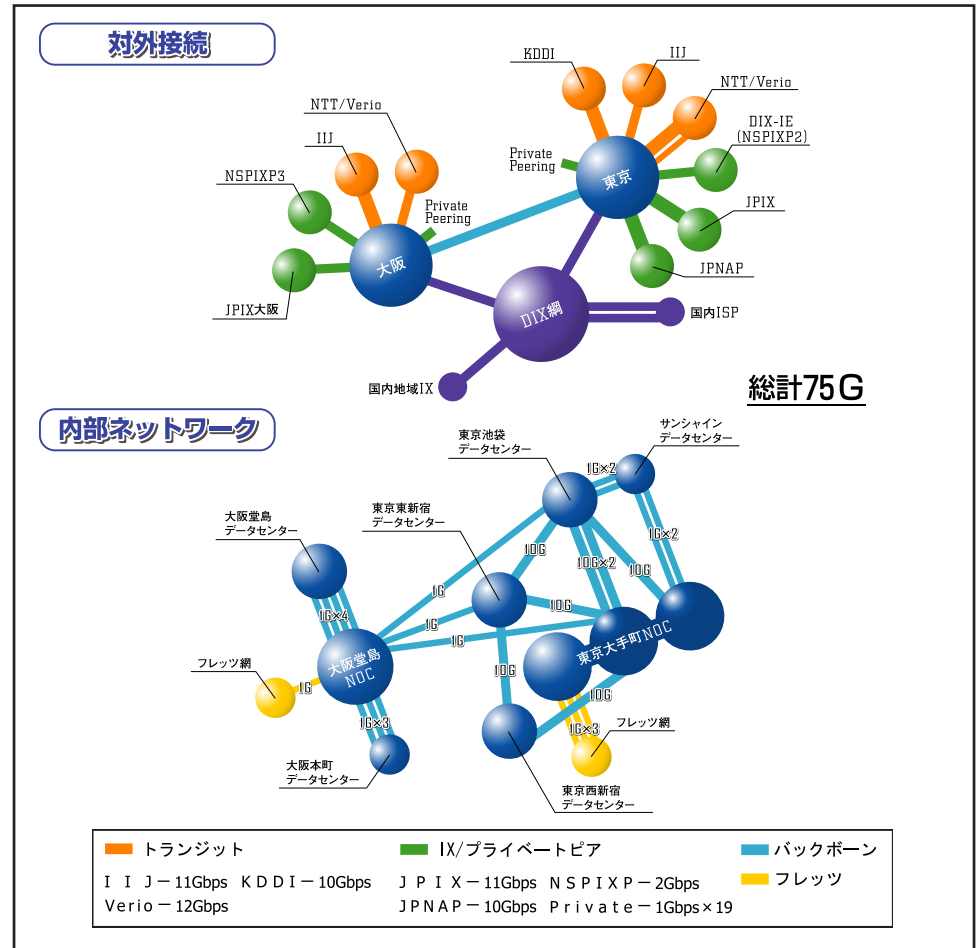
高速のバックボーン —対外接続容量、国内第5位—

バックボーン（対外接続容量）ランキング

順位	サービス名・会社名	対外接続容量
1	データセンターサービス (ケイ・オプティコム)	71 Gbps
2	BIGLOBEハウジングサービス (NEC)	65 Gbps
3	ソフトバンクIDC	65 Gbps
4	BBTowerデータセンターサービス (ブロードバンドタワー)	50 Gbps
5	さくらインターネットデータセンターサービス (さくらインターネット)	46 Gbps
6	Bit-isle IDCサービス (ビットアイル)	42 Gbps
7	WEbAREANA Symphony (NTTPCコミュニケーションズ)	40 Gbps
8	DataCenter (日本テレコム)	29.05 Gbps
9	NTTビズリンクnDC	27.5 Gbps
10	KDDIデータセンターサービス	24.4 Gbps

※インプレス刊「インターネットデータセンター完全ガイド2006年春号」調査

さくらインターネットバックボーン図



当社バックボーン増強の推移

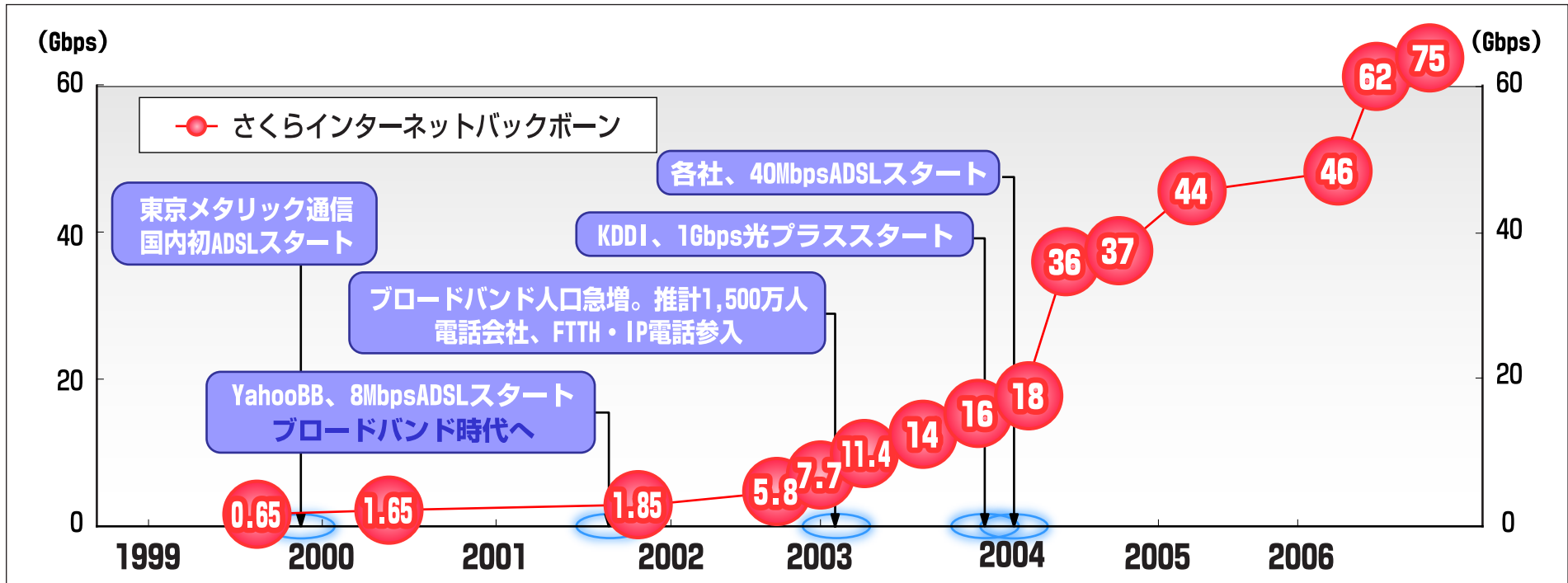
ブロードバンド時代への対応

- ▶ リッチコンテンツを安価に配信したいという顧客ニーズの高まり

バックボーン増強
顧客ニーズ充足

多くのトラフィック

バックボーンの推移



多くのトラフィック

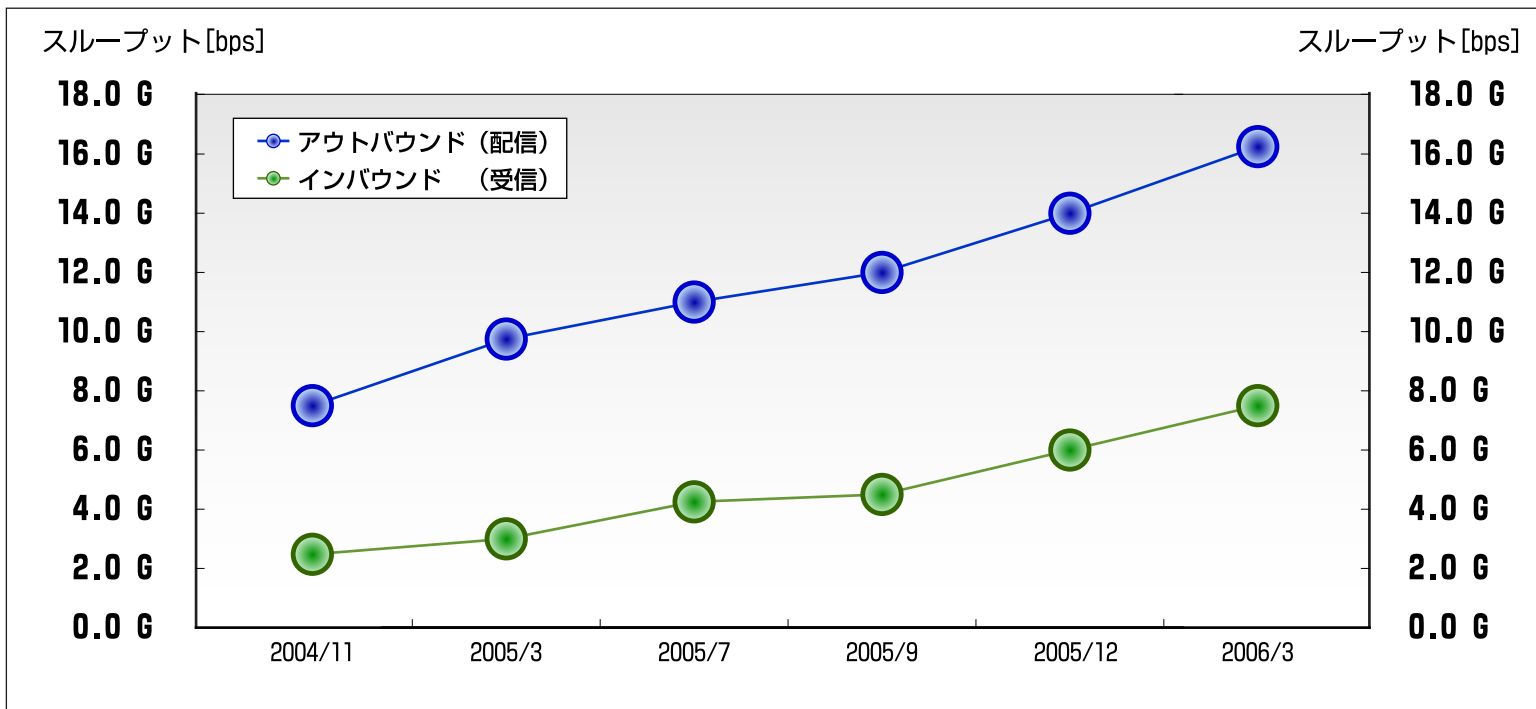
トラフィックが多いと…

- ▶ 多くのコンテンツが集まる
- ▶ ISP事業者とのピアリング

さらにトラフィックが増加

コストの減少 (ピアリングによる効果)

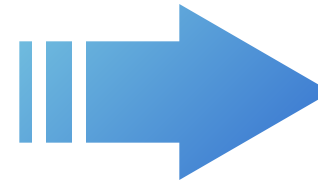
トラフィックの推移



価格競争力の高いサービス

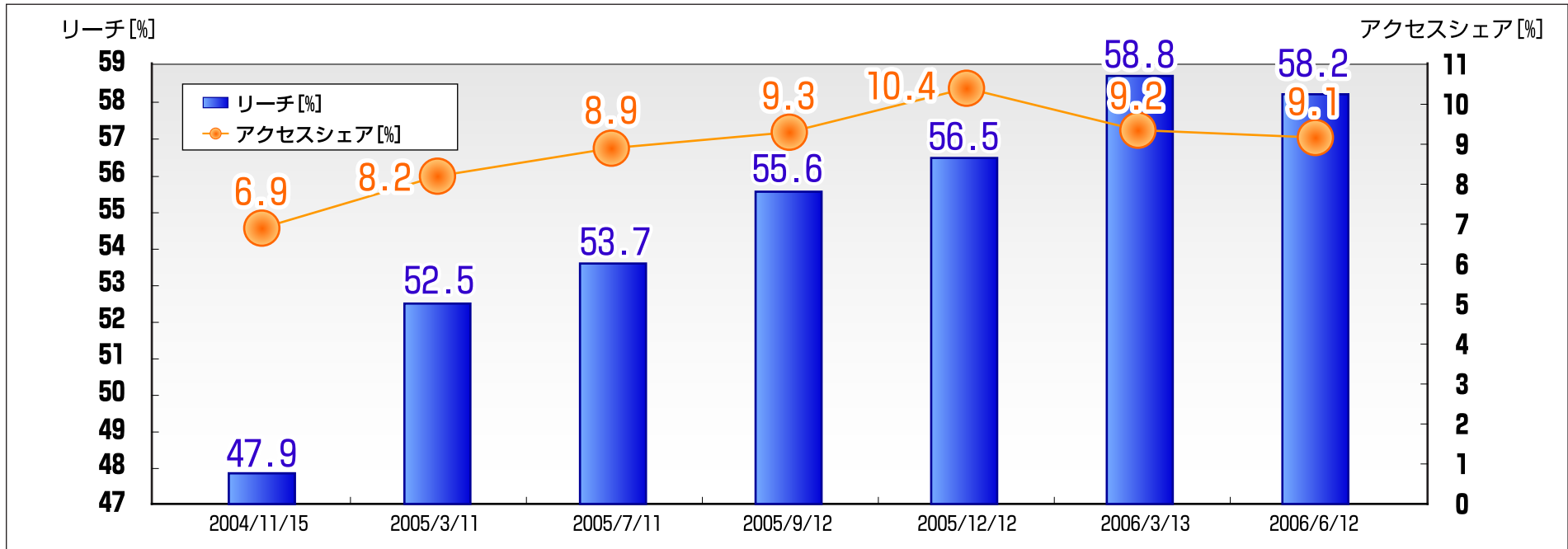
事業基盤の強みを生かし、価格競争力の高いサービス提供が可能

- ▶ 多くのコンテンツ、多くのトラフィックが集約
- ▶ ピアリングが容易となる、回線仕入れにおける価格交渉力が高まる
- ▶ バックボーン増強、データセンター設備の充実



強みの相乗効果

コンテンツ（視聴率）の推移



※ビデオリサーチ社調査による

都市型データセンター

都市型データセンターの強み

- ▶ 機動的なバックボーン構築に有利
- ▶ 通信インフラの安価な調達が可能
- ▶ 設備設置、メンテナンスにおけるアクセスの利便性

ブロードバンド時代に適している

バックボーン増速→有利
アクセスの利便性→便利



都市型データセンター

近い

ネットワーク

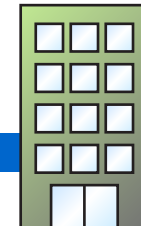
東京・大阪の都心部に集中



他のインターネット事業者

遠い

ネットワーク



郊外型データセンター

東京

・ サンシャインデータセンター	70 ラック
・ 池袋データセンター	195 ラック
・ 東新宿データセンター	314 ラック
・ 西新宿データセンター	269 ラック
・ 代官山データセンター	工事中

大阪

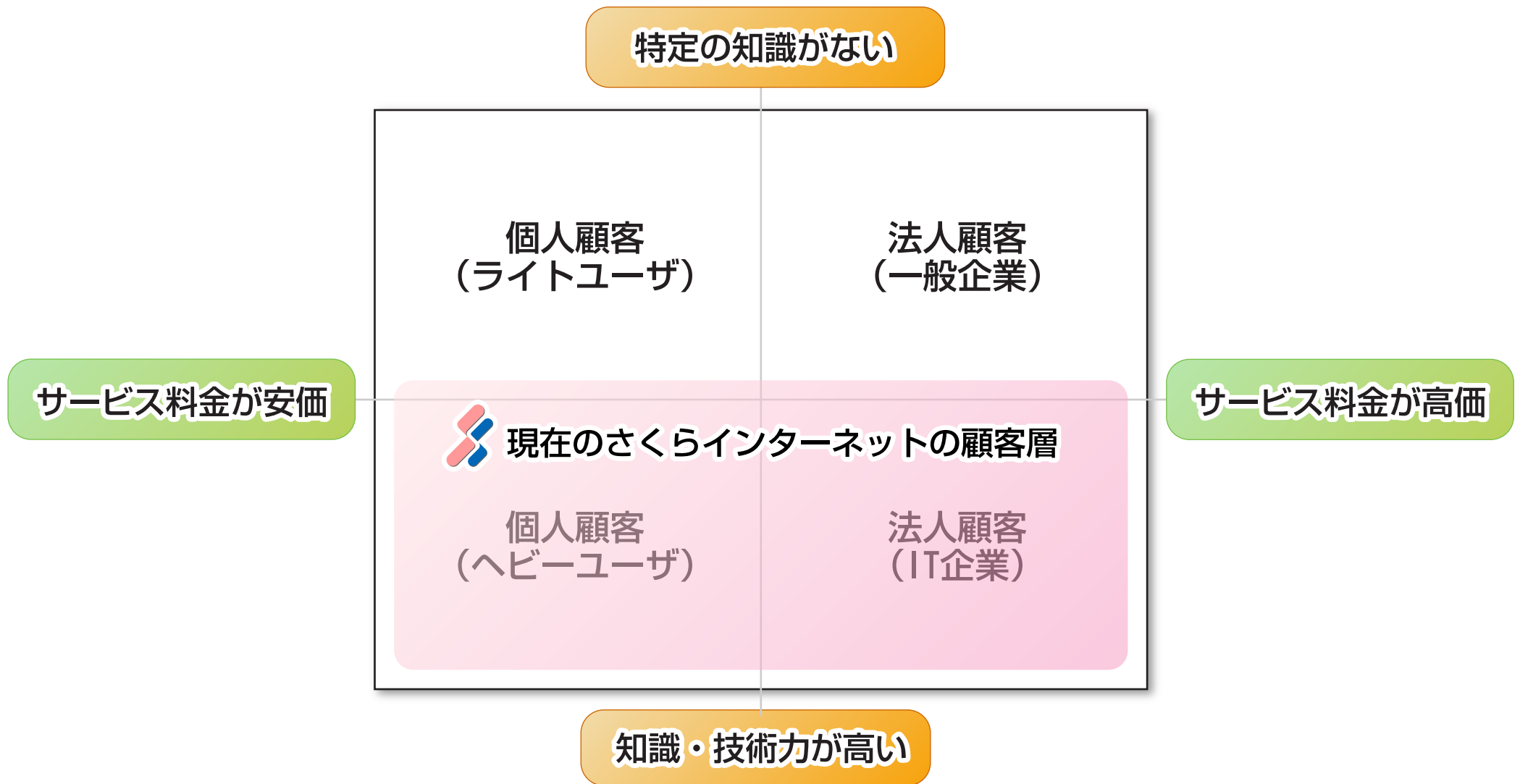
・ 本町データセンター	113 ラック
・ 堂島データセンター	216 ラック

合計

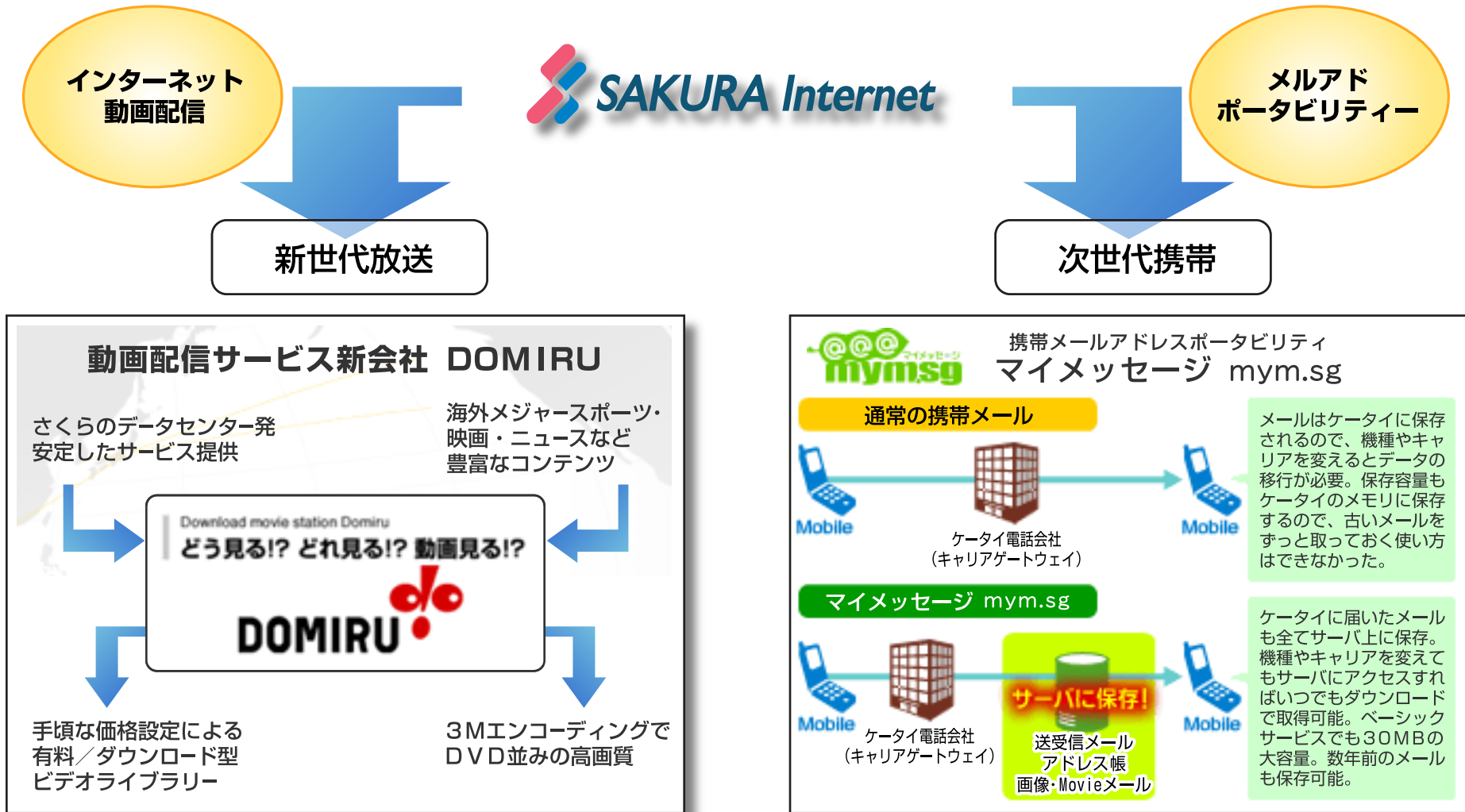
1,177 ラック
(平成18年 6月末)

今後の展望

当社の顧客の分布



新たな個人ユーザー層に向けたサービス (1)



新たな個人ユーザー層に向けたサービス (2)


ダンジョンズ&ドラゴンズ・オンライン ストームリーチ 正式サービスを開始

- ▶ データセンター事業の経験とインフラを活かせる
- ▶ コンテンツの付加による新たな企業価値が見込める
- ▶ ストレスのない環境をユーザーに提供しつつ、非常に低原価でサービスできる。


データセンター

デベロッパー


オンラインゲーム




新たな企業価値の1つ
オンラインゲームへの取り組み



世界展開を前提としたタイトル



オンラインゲームの日本展開



強固なデータセンターが必要



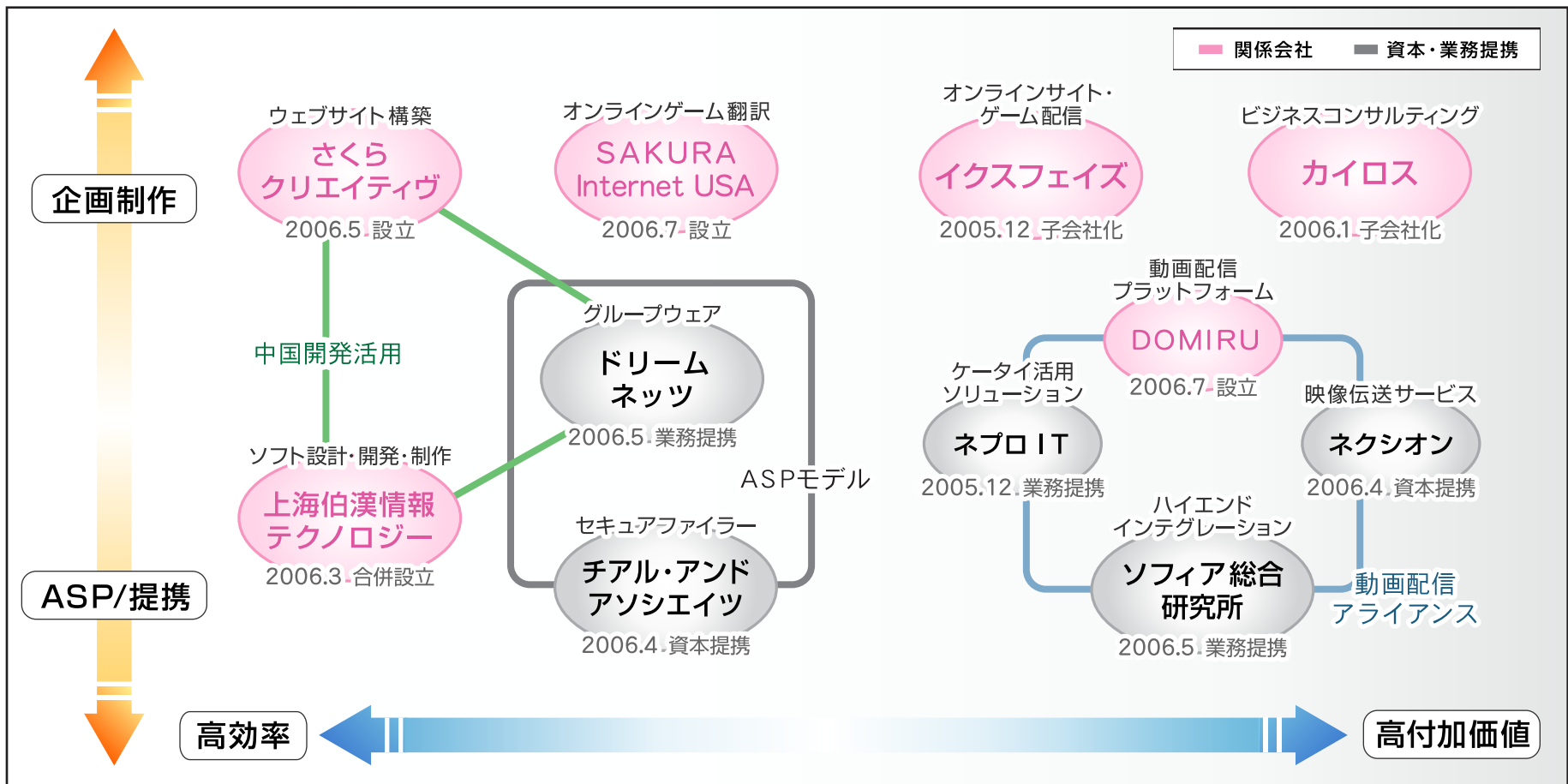
ダンジョンズ
&
ドラゴンズ・オンライン
STORMREACH

日本語版



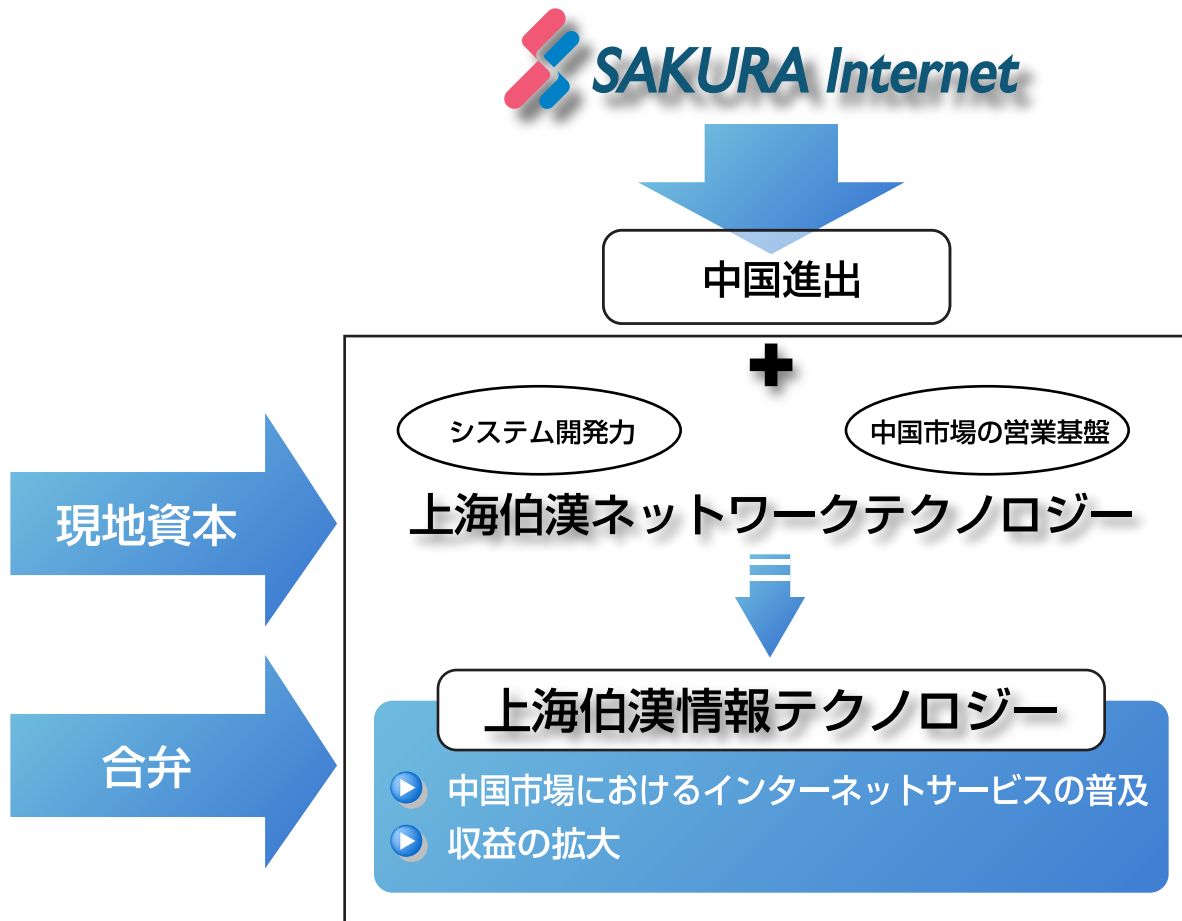
新たな法人ユーザー層に向けたサービス

企業グループ形成と資本・業務提携によるサービス機能強化



海外へ事業展開

ホスティング事業、データセンター運営のノウハウを活かして中国進出



全顧客層の獲得

